様式２－１

令和　7　年　　4 月　　9 日

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	就労継続支援Ａ型 サンライン
住　所	香川県丸亀市綾歌町栗熊西40-1
電話番号	0877-86-5613

事業所番号	3712002504
管理者名	多田　周平
対象年度	令和 6年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が７時間以上		40
②1日の平均労働時間が６時間以上７時間未満		
③1日の平均労働時間が５時間以上６時間未満		
④1日の平均労働時間が４時間30分以上５時間未満		
⑤1日の平均労働時間が４時間以上４時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が３時間以上４時間未満		
⑦1日の平均労働時間が２時間以上３時間未満		
⑧1日の平均労働時間が２時間未満		点

①90点 ②80点 ③65点 ④55 点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

（Ⅱ）生産活動

①前年度、前々年度及び前々々年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	60
②前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
④前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥前年度、前々年度及び前々々年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		点

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

（Ⅲ）多様な働き方

以下の項目を就業規則等で定めている		15
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	○	
②利用者を職員として登用する制度	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
⑤短時間勤務に係る労働条件	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	○	
小計	5	点

5以上:15点、3～4：5点、2以下：0点

（Ⅳ）支援力向上

以下の項目について取組実績がある		15
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ	○	
④販路拡大の商談会等への参加	○	
⑤職員の人事評価制度	○	
⑥ピアサポーターの配置		
⑦第三者評価		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
小計	5	点

5以上:15点、3～4：5点、2以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点

1事例以上ある場合:10点

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画書の作成対象事業所であるが、提出期限までに提出していない		0 点

未提出の場合:-50点

（Ⅶ）利用者の知識・能力の向上

前年度において、利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、公表している	○	10 点

取組が1以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	40
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			60
多様な働き方	0点	5点	15点						15
支援力向上	0点	5点	15点						15
地域連携活動	0点	10点							10
経営改善	-50点	0点							0
知識・能力	0点	10点							10

合計

150 点　／２００点

様式２－２

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（　6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	19,328	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,443	人	利用者の１日の平均労働時間数	4.4 時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（　4月～　3月）

前々々年度（　４年度）※ｺﾛﾅ感染症特別措置

生産活動収入から経費を除いた額	22,483,732	円	利用者に支払った賃金総額	19,551,967	円	収支	2,931,765 円

前々年度（　５年度）※ｺﾛﾅ感染症特別措置

生産活動収入から経費を除いた額	19,860,985	円	利用者に支払った賃金総額	19,175,390	円	収支	685,595 円

前年度　（　６年度）

生産活動収入から経費を除いた額	19,778,113	円	利用者に支払った賃金総額	19,681,349	円	収支	96,764 円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（　６年度）における実績（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数　名
※取得を進めた免許等：
制度の活用内容：

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数　名
◎うち1名は雇用継続期間が６月に達している　☐
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している　☐
※登用した日　年　月　日
勤務形態：
就業時間：　時　分～　時　分
職務内容：

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数　名
※実施した期間：　月　日～　月　日
就業時間（在宅勤務）：　時　分～　時　分
職務内容：

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数　名
※実施した期間：　月　日～　月　日
就業時間（コアタイム）：　時　分～　時　分
職務内容：

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数　名
※実施した期間：　月　日～　月　日
就業時間（短時間）：　時　分～　時　分
職務内容：

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数　名
※実施した期間：　月　日～　月　日
就業時間（早出の場合）：　時　分～　時　分
就業時間（遅出の場合）：　時　分～　時　分
職務内容：

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数　16 名
◎計画的付与制度を活用した人数　16 名
※取得した制度　有給休暇の時間単位取得　☑
計画的付与制度　☑
取得した期間：　9月　1日～３月31日
取得日数・時間　各 5日　各 25時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数　名
※取得した内容：　休職（約1年間の引越し）
取得した期間：　10月　1日～　9月　30日
就業時間：　9時　30分～　14時　30分
職務内容：　ホテル客室清掃

（※）当該制度等を活用した任意の１名の実績を記載

（Ⅳ）　支援力向上

前年度（ 6年度）における実績（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している　☐
◎研修実施回数　外部　６回／内部　12回
対象職員数　10 人
うち研修受講者数　5 人
※研修名　就労選択支援勉強会
研修講師　厚生労働省　障害保健福祉部　野村部長
実施日・受講者数　9 月　20 日　1 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数　1 回
※研修、学会等名　障害者雇用セミナー
実施日　R　7　2 月　20 日
※学会誌等名
掲載日　月　日
発表テーマ　障害者を戦力化しないのはもったいない

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している　☑
◎他の事業所の視察・実習を受け入れている　☑
※先進的事業者名　A型 くすがみ
実施日/ 参加者数　9 月　25 日　1 人
※他の事業所名
実施日/ 参加者数　月　日　人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数　1 回
※商談会等名　新入会員オリエンテーショ
主催者名　高松商工会議所
日時　R6　11 月　19 日
内容
他の企業に就労継続支援事業の説明・営業

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している　☑
◎当該人事評価制度を周知している　☑
人事評価制度の制定日　31 年　4 月　1 日
人事評価制度の対象職員数　4 名
うち昇給・昇格を行った者　1 名
当該人事評価制度の周知方法
面談 及び 書面

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している　☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ﾋﾟｱｻﾎﾟｰﾄ研修」を受講している　☐
※配置期間　月　日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去３年以内に福祉サービス第三者評価を受けている　☐
※評価を受けた日　月　日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている　☐
※認証を受けた日　月　日
規格等の内容

（※）実績のうち１事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

様式１

2025　年　3　月　1　日

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	サンライン
住　所	香川県丸亀市栗熊西40-1
電話番号	0877-86-5613

事業所番号	3712002504
管理者名	多田周平
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞

活動場所：ホテル レオマの森
実施日程： 毎日
実施した生産活動
和･洋室･ｽｲｰﾄなど客室清掃業務
利用者数： 1日あたり10名 ～ 13名

＜目的＞

人気ホテルの運営に客室清掃で参加し地元の観光産業に貢献する。

＜成果＞

インバウンドも回復傾向にあり、観光産業は多くの客に溢れている一方、現場は労働力の不足という深刻な課題を抱えている。私たちは事業を通じ課題解決の一助となれた。これからも品質向上に努め、更なる事業領域開拓を積極的に提案していきたい。

＜活動の様子＞

連携先の企業等の意見または評価

人口減少に伴う労働力不足が社会的課題として顕著となっている。
機械科などで省力化・省人化できるところは積極的に行なっているが、私たち清掃業を始めとするサービス業はまだまだ人に頼らざるをえないところが大きく、人員確保がますます重要な課題となっている。
日頃、サンラインさんとの連携を通じて、それらの課題を解決しつつ質の高いサービスを提供できていると感じています。
これからも更なる連携・協力を行い、また新たな事業領域の開拓などを検討していければと考えています。

連携先企業名	株式会社 サニーサイド	担当者名	名古谷　直久

様式２

2025　年　2　月　14　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	サンライン
住　所	香川県丸亀市栗熊西40-1
電話番号	0877-86-5613

事業所番号	3712002504
管理者名	多田　周平
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所：ホテル レオマの森

実施日程：2月14日

内容　　：(株)サニーサイドの指導を受け
各階のお客様カート回収

利用者数： 3名

＜目的＞

通常の作業では行うことのない各階のお客様カート回収を教えて頂き、清掃業務に付随する職域を広げるため。

今後、依頼があれば業務につなげていく。

＜成果＞

開始時は不安そうな表情が見られたが、スタッフの説明をよく聞き意欲的であった。

カートを移動する際は壁や他のカートにぶつからないよう慎重に運んでいた。

カートを重ねる際に上手く重ならず思うようにいかない様子であった。

＜活動の様子＞

■ メイク表を確認し、連泊以外の部屋の前に置いてあるお客様カートを回収する。

■カートが２つになった場合は重ねて移動する。

■各階回収後4階に収納する。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

みなさん教育内容をしっかり聞き、注意点にも意識して作業ができました。
他の作業者と声を掛け合い、お互いに感覚を掴むことでカートの積み重ねも
上手くできてくると思います。また、依頼させていただく際はよろしくお願いします。

連携先企業（担当者）	(株)サニーサイド　宮川

利用者からの意見・評価

カートを重ねる作業が難しい。
集めたカートを4階に収納する際、通路が狭く緊張した。　等